



そよかぜだより

令和3年7月29日

垂井こども園

梅雨が明け暑い日が続く中、園庭やおおぞらひろばでは、子どもたちのにぎやかな声が聞こえてきます。これからも子どもたちが『やってみたい』と興味や関心を持つような活動を考えていきたいと思えます。

【夏の遊びをしたよ】



ジャージャー流すよ！



気持ちがいいな！



水遊びをしています。ペットボトルから水が流れる様子をじっと見たり、腕や体にかけていたりしている子どもたち。水の気持ちよさを感じています。



こっちも塗ろう！



絵の具遊びをしました。「冷たい」「ぬるぬるする！」と手で触った感触を話していました。好きな色を使ったり「こんな色になった！」「次は何色になるかな」と混ぜたりして遊んでいます。手だけでなく、足や体で紙やビニールに描いていた子どもたちです。



垂井町のシンボル！

垂井こども園のこいのぼりができました！

【七夕飾りを作ったよ】



ヒラヒラして
きれいだね

回廊に子どもたちが作った七夕飾りを飾りました。和紙を絵の具で染めたり、折り紙を折ったりして作られた飾りが風に揺れる下を子どもたちは散歩しました。

【七夕会をしたよ】



手作りの冠
をかぶって
変身！

7月7日の七夕の日は、こども園で1番大きいらいおん組、ぞう組（5歳児）の子どもたちが織姫と彦星に変身しました。ドキドキしながら各クラスを回り、0～4歳児の子どもたちに歓迎されると、嬉しそうな5歳児の子どもたち。0～4歳児の子どもたちも織姫と彦星に会えて喜んでいました。みんなの願いが叶うといいですね！

【聖火のトーチを見たよ】



手作りフラッグでお迎えをしました。

1.2 kg
あるよ



ペンダント
ありがとう！

東京2020オリンピック聖火ランナー多賀吉令さん（垂井町栗原在住）に来園いただきました。実際のトーチを見せてもらいながら、トーチのデザインのモチーフが桜になっていることや持ち方を教えていただき、実際に持って歩いた子どもたち。「何事も継続することが大切」というメッセージをいただきました。